

21. 下顎神経ブロックと抗凝固・抗血栓療法

CQ23：抗凝固薬・抗血小板薬を使用している患者に下顎神経ブロックを安全に施行できるか？ 出血性合併症のリスクは対照群（抗凝固薬・高血小板薬を使用していない患者）と同等か？

シロスタゾール、ジピリダモールおよびアスピリンを含む非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）を服用している患者に対しては、休薬せずに下顎神経ブロックを施行してよい。アスピリンを含むNSAIDsを併用している場合や上記以外の抗血小板薬、抗凝固薬を服用している患者に対しては、適切な休薬期間を設けた後に下顎ブロックを行うことが望ましい。

エビデンス総体の総括：2D

解説：

下顎神経ブロックには、頭蓋腔から卵円孔を通過した後の下顎神経をX線透視下にブロックする穿刺法が一般的である。

海外のガイドラインで、下顎神経ブロックを抗凝固薬または抗血小板薬使用中の患者に安全に施行できるかどうかを調査した文献は見当たらない。また、抗凝固療法中の患者に下顎神経ブロックを行い、合併症が発症したという報告もない。

国際ガイドラインや英国ガイドラインに記載されているリスク分類に下顎神経ブロックの言及はないが、下顎神経は深在性末梢神経であり、出血時圧迫止血が困難であるため、中等度リスクのブロックに分類され则认为。英国や米国（ASRA）のガイドラインでは、末梢神経ブロックはアスピリンを含むNSAIDsが単独で投与されている場合、休薬せず施行可能であるとしている。欧州のガイドラインでは、止血が不可能な深在性神経ブロックでは休薬を推奨している。国際ガイドラインでは、NSAIDsの休薬は必要ないが、アスピリンの場合、休薬によるリスクと利益を症例ごとに検討することを推奨している。その他の抗血小板薬や抗凝固薬に関しては、各薬物に応じた適切な休薬期間を設けた後に施行することを推奨しており、下顎神経ブロックについても同様の対応が望ましい。

なお、総論部分との繰り返しになるが、上記推奨事項はあくまでも現存の資料等から考察されたものであり、個別症例に対する適用では、症例ごとの特性に基づき個別に判断されるべきものである。

参考文献

<ガイドライン>

国際

1. Narouze S, Benzon HT, Provenzano DA, et al: Interventional spine and pain procedures in patients on antiplatelet and anticoagulant medications: Guidelines from the American Society of Regional Anesthesia and Pain Medicine, the European Society of Regional Anaesthesia and Pain

非ステロイド性抗炎症薬：
NSAIDs：nonsteroidal
anti-inflammatory drugs

米国区域麻酔学会：
ASRA：American Society of
Regional Anesthesia and Pain
Medicine

- Therapy, the American Academy of Pain Medicine, the International Neuromodulation Society, the North American Neuromodulation Society, and the World Institute of Pain. *Reg Anesth Pain Med* 2015; 40: 182-212
- 英 国
2. Working Party, Association of Anaesthetists of Great Britain & Ireland, Obstetric Anaesthetists' Association, et al: Regional anaesthesia and patients with abnormalities of coagulation: the Association of Anaesthetists of Great Britain & Ireland The Obstetric Anaesthetists' Association Regional Anaesthesia UK. *Anaesthesia* 2013; 68: 966-972
- 米 国
3. Horlocker TT, Wedel DJ, Rowlingson JC, et al: Regional anesthesia in the patient receiving antithrombotic or thrombolytic therapy: American Society of Regional Anesthesia and Pain Medicine Evidence-Based Guidelines, 3rd ed. *Reg Anesth Pain Med* 2010; 35: 64-101
- 欧 州
4. Gogarten W, Vandermeulen E, Van Aken H, et al: Regional anaesthesia and antithrombotic agents: recommendations of the European Society of Anaesthesiology. *Eur J Anaesthesiol* 2010; 27: 999-1015